



第 19 回 全日本カッター競技大会

神船大

鈴木

日 時 1975. 5. 18 (日) 08:30~16:00
場 所 千葉県富浦湾
主 催 全日本カッター連盟
主 管 東京商船大学
後 援 日本放送協会
" ディリースポーツ本社
" 富 浦 町

第19回 全日本カッター競技大会

日 時 昭和50年5月18日(日) 08:30 ~ 16:00

会 場 千葉県富浦湾

主 催 全日本カッター連盟

後 援 日本放送協会
ディリースポーツ本社
富浦町

出 場 校

海	技	大	学	校		
海	上	保	安	大	学	校
鹿	児	島	大	学		
神	奈	川	歯	科	大	学
神	戸	商	船	大	学	
水	産	大	学	校		
電	気	通	信	大	学	
東	京	水	産	大	学	
長	崎	大	学			
日	本	大	学			
防	衛	大	学	校		
三	重	大	学			

主管 東京商船大学

井原 雅彦

第19回 全日本カッター

競技大会を迎えて

第19回 全日本カッター競技大会会長

東京商船大学長 小 山 正 一

○ 第19回全日本カッター競技大会開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日ここに、全国から関係各大学の選手諸君はじめ、関係者のご参加を得て、房州富浦沖で開催のはこびになりました。誠に喜びにたえません。

戦後三十年、日本は驚異的復興と発展をとげ、今や世界有数の経済大国となると同時に、海運、水産、造船の各分野においても、世界一の大海洋国家でもあることは、まぎれもない事実でもあります。しかし遺憾ながら、国民一般、特に次代を担う青年の海への意識と気迫は、往年と比較して必ずしも旺盛とは云い難く、憂慮にたえなく思っている次第であります。

○ この時に当り、全国の海事関係大学の選手諸君が、大学の名誉をかけて、平素のたくましい鍛練の成果を遺憾なく発揮し、互にあらん限りの闘魂をかたむけて、その勝利を競い合うことは、時節柄まことに有意義であります。益々その士気を鼓舞することにより、畏心よりその成功を祈ってやみません。

なお、本大会を開催するにあたり、ご好意とご援助を賜った関係各位に対し、深甚なる謝意を表する次第であります。

大 会 役 員

会 長	東京商船大学	学 長	小 山	正	一
副 会 長	東京商船大学	学生部長	真 田	保	茂
	東京商船大学	航海科長	中 島	卓	司
審 判 長	東京商船大学	顧問	吉 田		也
役 員	海技大 学校		長 畑	良	司
	海上保安大 学校		田 坂	保	一
	鹿児島大 学		松 野	金	久
	神奈川歯科大 学		伊 藤	昭	治
	神戸商船大 学	榮	杉 浦	市	典
	水産大 学校	○	橋 本	籙	雄
	電気通信大 学		松 岡	三	之
	東京水産大 学		柳 川	惠	郎
	長崎大 学		柴 田	利	司
	日本大 学校		薬 師	洋	晴
	防衛大 学校	○	阿 部	秀	継
	三重大 学		関 口		夫

大 会 委 員

委 員 長	渡 辺	清	放送・進行	高	木	公	生
庶務・会計	布吉	文	通 記	佐 赤	藤 石	わ た	る
会 場	北 田	聰	警 審	宮 和	城 田	正 雅	樹 之
配 艇	石 坂	勝 昭	宿 救	原 竹	田 井	文 史	明 郎
競 技 場	泉 谷	夫 二				義	晴
	田 德	一					
	永	俊 誠 慎					

クルー名簿

海技大学校

顧問 長 畑 司

注) ●印主将 ○印マネージャー

	科	・学年	氏	名	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	航	2	●家	原 梅 男	168	60	児 島	岡山
艇長	航	2	○小	甲 和 己	171	62	鳥 羽 商 船	三重
1	航	1	金	丸 成	161	62	宮崎日大(高)	宮崎
2	航	1	熊	谷 之	166	73	気仙沼水産	宮崎
3	航	1	下	村 美	160	55	三 股	宮崎
4	機	1	横	山 勉	163	58	七 尾	石川
5	航	1	山	本 人	176	64	米 子 工 業	鳥取
6	航	1	三	浦 二	169	62	釜 石 南 産	岩手
7	航	1	釜	屋 喜 代 治	170	65	隠 岐 水	北 海 道
8	航	1	錦 古	里 樹	167	68	芦 七	新潟
9	機	1	菊	地 明	160	53	七 尾	秋 田
10	機	1	藤	原 力	176	71	大 館 工 業	秋 田
11	機	1	渡	部 男	175	67	宇 和 島 水 産	愛 媛
12	機	1	橋	本 男	170	69	鳴 門 工 業	徳 島
補	航	1	田	口 照	170	78	日 南 工 業	宮 崎
〃	航	1	濱	孝 康	163	60	御 荘	愛 媛

海上保安大学校

顧問 田 坂 良 一

	科	・学年	氏	名	身長	体重	出身校	出身地
艇指揮	N	4	●岩	男 雅 之	173	63	門 司 高	福岡
艇長	N	4	伊	藤 豊 彦	173	63	東 淀 川 高	大阪
1	W	2	滝	良 伸	167	63	名 古 屋 学 院	大 愛
2	E	4	今	直 彌	162	58	古 川 高 部	宮 崎
3	W	3	飯	野 茂	174	66	筑 上 中 芸 高	福 岡
4	N	4	○浜	田 仁 祐	170	63	高 知 学 芸 高	高 知
5	N	3	木	田 二 年	165	68	浦 河 高	北 海 道
6	N	2	黒	田 喜 俊	173	70	宇 佐 高	大 阪
7	N	2	御	池 安 宏	175	73	堀 川 高	京 都
8	E	2	金	岡 基 祐	180	80	長 岡 学 院	新 大 阪
9	N	3	三	岡 祐 一	175	80	桃 山 学 院	大 阪
10	N	3	浜	岡 治 久	172	70	広 倉 高 南	大 阪
11	E	3	渡	不 嶋 和	165	63	小 七	福 石
12	N	2	不	嶋 和 久	165	64	倉 尾 高	岡 崎

ク ル ー 名 簿

鹿 児 島 大 学

顧問 松 野 保 久

(註) ●印主将 ○印マネージャー

	科・学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出身地
艇指揮	製 2	谷 口 紳 司	169	60	大 垣 南	岐 阜
艇 長	増 3	小 西 良 三	175	62	東 住 吉	大 阪
1	漁 3	○松 内 一 克	170	66	西 南 学 院	福 岡
2	増 3	下 和 田 隆	167	60	伊 万 里	佐 賀
3	漁 2	塩 東 満	173	68	市 立 姫 路	兵 庫
4	製 3	塚 金 彦	171	64	鹿 児 島 中 央	鹿 児 島
5	増 2	大 塚 恒 弘	169	63	玉 小 龍 金	鹿 児 島
6	漁 3	●渡 野 合 徳	180	75	昭 宗 和 像	千 愛 知
7	漁 2	田 永 野 岡 島	169	70	白 陵 西 麓	福 岡
8	製 2	田 永 野 岡 島	178	75	新 居 浜 西 麓	愛 媛
9	漁 2	田 永 野 岡 島	177	65	新 居 浜 西 麓	愛 媛
10	漁 2	田 永 野 岡 島	167	65	新 居 浜 西 麓	愛 媛
11	漁 2	田 永 野 岡 島	167	65	新 居 浜 西 麓	愛 媛
12	漁 2	田 永 野 岡 島	165	58	新 居 浜 西 麓	愛 媛
補	経 2	田 永 野 岡 島	165	58	新 居 浜 西 麓	愛 媛
"	増 2	田 永 野 岡 島	172	68	新 居 浜 西 麓	愛 媛
		田 永 野 岡 島	171	65	新 居 浜 西 麓	愛 媛

神 奈 川 歯 科 大 学

顧問 佐 藤 金 治

	科・学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出身地
艇指揮	歯 4	湯 山 徳 行	171	57	杉 並 高	東 京 都
艇 長	" 4	鈴 山 正 憲	172	60	山 形 東 高	山 形 県
1	" 3	石 有 松 朗	170	59	県 立 日 田 高	大 分 県
2	" 2	浜 山 田 慶	172	60	枕 崎 高	鹿 児 島 県
3	" 2	山 本 倉 一	173	75	関 東 六 浦 高	神 奈 川 県
4	" 1	板 倉 山 行	168	60	県 立 笠 間 高	岡 山 県
5	" 1	小 見 山 宮 茂	164	48	県 立 松 江 高	島 根 県
6	" 1	間 小 宮 泰	170	57	福 岡 高	福 岡 県
7	" 2	塩 鈴 津 木 上	172	61	岐 阜 高	岐 阜 県
8	" 3	井 土 肥 村 下	168	60	県 立 天 城 高	岡 山 県
9	" 1	大 松 岩 泰	168	51	関 東 六 浦 高	神 奈 川 県
10	" 2	井 土 肥 村 下	174	69	津 山 高	岡 山 県
11	" 3	井 土 肥 村 下	172	68	旭 川 東 高	北 海 道
12	" 3	井 土 肥 村 下	174	66	総 社 高	岡 山 県
補	" 3	井 土 肥 村 下	171	77	逗 子 開 成 高	神 奈 川 県
"	" 4	井 土 肥 村 下	168	60	県 立 南 部 高	和 歌 山 県

ク ル ー 名 簿

神戸商船大学

顧問 杉 浦 昭 典

(註) ●印主将 ○印マネージャー

	科	・ 学年	氏	名	身 長	体 重	出 身 校	出 身 地	
艇指揮	機	4	広	畑	純	168	61	大 安 寺 高	岡 山
艇 長	機	4	松	本	博 明	168	61	寝 屋 川 高	大 阪
1	原	3	永	広	久 雄	170	67	濟 々 高	熊 本
2	機	3	高	松	久 和	168	63	屋 代 高	長 野
3	原	3	井	上	夫 節	170	65	大 田 原 高	栃 木
4	機	3	村	田	幸 夫	172	67	武 蔵 高	東 京
5	機	4	河	合	一 幸	173	65	下 関 西 高	山 口
6	航	4	●渡	辺	一 治	174	67	私立愛知高	愛 知
7	原	2	肥 後	屋 穰	治 明	175	70	猶 興 館 高	長 崎
8	航	2	山	本	明 進	178	65	花 園 高	大 阪
9	機	4	宇	野	信 一	171	70	市立西宮高	兵 庫
10	航	4	松	浦	孝 正	171	66	福山誠之館高	大 阪
11	機	3	村	田	一 薫	170	67		山 口
12	原	3	戒	重	豊 則	168	63	西 南 高	福 岡
補	機	4	○森	重	敏 則	168	63	宇 部 高	山 口
〃	航	3	宮	本	敏 伸	171	64	山 口 高	山 口
〃	航	3	末	本	次 広	178	65	市立高松第一高	香 川
〃	原	3	木	原	幸	168	60	大牟田北高	福 岡

水 産 大 学 校

顧問 橋 本 市 雄

	科	・ 学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出 身 地	
艇指揮	増	3	○杉 山	昭 博	173	65	高松工芸高	香 川
艇 長	漁	3	柁 本	竜 男	170	66	旭 川 原 高	北 海 道
1	製	2	辻 岡	孝 次	173	64	有 馬 高	兵 庫
2	漁	2	岡 本	明 彦	172	62	美 称 高	山 口
3	機	2	中 島	秀 昭	170	66	宮 崎 南 高	宮 崎
4	機	2	大 東	和 広	176	72	清 風 高	大 阪
5	漁	2	山 梨	嘉 久	178	69	日大附属三島高	静 岡
6	機	2	宮 本	知 行	178	70	町 田 高	東 京
7	漁	3	倉 持	繁 樹	176	70	武 蔵 丘 高	東 京
8	機	3	松 井	秀 義	175	68	佐 世 保 西	長 崎
9	機	3	佐 藤	克 恵	178	70	尾 道 高	大 阪
10	漁	3	●久 保	資 彦	176	75	高 輪 高	東 京
11	製	3	高 谷	種 彦	165	64	加 古 川 西	兵 庫
12	漁	3	高 施	秀 男	175	68	吉 川 高	新 潟
補	漁	2	安 藤	豊 盛	178	69	富 島 高	宮 崎
〃	機	2	小 篠	英 信	165	62	玉 名 高	熊 本
〃	漁	2	二 宮	通 彦	172	63	松 山 北 高	愛 媛
〃	増	2	此 松	好 彦	170	66	安 止 院 高	大 分

ク ル ー 名 簿

電 気 通 信 大 学

顧問 松 岡 籟 之 助教授

(註) ●印主将 ○印マネージャー

	科	・ 学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出身地
艇指揮	R	4	大 村 茂	173	70	八 潮 高	東 京
艇 長	S	1	大 麻 田 直 人	170	68	小樽桜陽高	北海道
1	R	2	○石 川 進	168	58	名古屋市立北高	愛 知
2	T	4	亀 田 正 和	176	66	泉ヶ丘 高	宮 崎
3	T	3	宮 内 正 孝 治	160	50	八幡浜工高	愛 媛
4	R	2	白 川 光 雄	169	65	大 館 工 高	秋 田
5	R	3	富 岡 喜 志 夫	170	63	八 戸 水 産	青 森
6	R	2	大 久 保 武 彦	171	56	横浜市立東高	神奈川
7	R	2	佐 藤 信 之 夫	168	62	宮 城 水 産	宮 城
8	R	4	白 木 一 照	170	74	尼 崎 東 高	兵 庫
9	R	2	菊 地 田 治 夫	168	60	由 利 工 高	秋 田
10	R	3	福 小 川 原 均	171	61	八 戸 水 産	青 森
11	R	3	小 川 原 均	166	68	羽 幌 高	北海道
12	R	3	●横 田 一 康	167	65	柏 崎 工 高	新 潟
補	S	2	田 中	168	58	津	重 三

東 京 水 産 大 学

顧問 柳 川 三 郎

	科	・ 学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出身地
艇指揮	漁	4	稻 生 良 邦	175	66	桜 丘 高	神奈川
艇 長	増	4	清 水 哲	172	66	長 野 高	長 野
1	増	3	柴 垣 由 文	174	65	熊 本 高	熊 本
2	食	3	岡 崎 幸 治	170	70	宇 部 高	山 口
3	食	3	加 藤 幸 泰 頭	172	70	桂 高	山 梨
4	漁	4	江 口 秀 伸	177	65	佐世保南高	長 崎
5	漁	3	稻 田 史 裕	180	78	八幡中央高	福 岡
6	漁	3	内 田 裕	174	72	葺 谷 高	兵 庫
7	増	4	三 浦 三 郎	178	72	城 東 高	徳 島
8	増	4	荒 川 修 郎	183	76	桜 台 高	愛 知
9	増	3	佐 野 市 博	167	63	岐 阜 高	岐 阜
10	漁	3	池 田 志 均	168	71	大 安 寺 高	岡 山
11	増	3	柳 沢 均 雄	168	65	高 崎 高	群 馬
12	漁	3	松 岡 秀 彦	167	62	竹 早 高	東 京
補	漁	2	菅 野 雅 彦	175	80	九 段 高	東 京
"	増	2	小 堀 彰 彦	170	67	聖 光 学 園	神奈川
"	食	2	鈴 木 伸 久	174	71	大 森 高	東 京
"	漁	2	小 林	165	65	上 田 高	長 野

ク ル ー 名 簿

長 崎 大 学

顧問 柴 田 恵 司 (漁船運用学教授)

(註) ●印主将 ○印マネージャー

	科	・ 学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出 身 地
艇指揮	海	3	中 村 篤 雄	169	60	鹿 本	熊 本
艇 長	海	3	○高 木 健 三	167	58	宇和島水産	愛 媛
1	海	2	水 頭 潤 一	162	55	諫 早	長 崎
2	海	2	杉 山 征 治	162	53	玉 名	熊 本
3	海	2	川 久 保 晶 博	178	65	佐 世 保	長 崎
4	海	2	木 下 泉	171	62	小 倉	福 岡
5	海	3	秋 村 健 司	176	72	岩 国	山 口
6	海	3	江 幡 義 彦	168	65	青 森	青 森
7	海	3	●蓮 幡 香 幸 也	170	66	鹿 児 島 水産	鹿 児 島
8	海	3	伴 野 元 一	173	65	高 津	大 阪
9	海	2	横 井 耕 一 郎	178	65	小 倉	福 岡
10	海	2	末 次 良 次	175	70	三 池	福 岡
11	海	2	福 田 智	175	65	市 岡	大 阪
12	海	2	水 中 田 実 隆	168	60	長 崎 南	長 崎
補	海	2	中 村	183	75	松 江 北	島 根

日 本 大 学

顧問 薬 師 神 利 晴

	科	・ 学年	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出 身 地
艇指揮	拓	4	●鈴 木 勝 己	176	78	日 大 三 島	静 岡
艇 長	畜	4	桑 田 平 太	168	63	淡 路 農	兵 庫
1	利	3	清 水 春 生	170	65	逗 子 開 成	神 奈 川
2	遠	3	小 西 智 尚	171	60	鷺 宮	東 京
3	機	3	奈 良 博 生	171	60	日 大 第 二	東 京
4	機	3	森 那 一 公 行	165	60	日 大 三 島	静 岡
5	機	3	那 須 公 雄 一 郎	166	61	日 大 北 海 道	北 海 道
6	遠	3	中 前 山 雄 一 郎	170	65	由 良 育 英	鳥 取
7	遠	3	杉 山 清 裕	170	60	日 大 神 奈 川	神 奈 川
8	機	3	中 野 幹 辰 一 郎	165	54	相 模 原	神 奈 川
9	遠	3	上 村 辰 一 郎	173	70	習 志 野	千 葉
10	遠	3	畑 瀬 崇 順	176	69	海 成	東 京
11	遠	2	岡 村 政 美	164	58	山 口 水 産	山 口
12	遠	2	新 宅 祥 平	178	68	山 口 水 産	山 口
補	遠	2	栗 山 敬 輔	163	54	日 大 神 奈 川	神 奈 川

ク ル ー 名 簿

防 衛 大 学 校

顧問 阿 部 洋 継 (2 海尉)

(註) ●印主将 ○印マネージャー

	科 ・ 学校	氏 名	身 長	体 重	出 身 校	出 身 地	
艇指揮	4	橋 本	陸	160	78	益 田 高 校	島 根
艇 長	4	小 野 山	典 幸	175	58	丸 龜 高 校	愛 媛
1	3	小 豊 沢	幸	170	67	鉾 田 一	茨 城
2	3	小 畑	明	162	60	宇 土 高	熊 本
3	4	鈴 木	富 豊	169	65	大 曲 高	秋 田
4	4	●瀬 海	豊	170	68	八 代 高	熊 本
5	3	石 川	明	176	69	太 田 第 一	茨 城
6	3	林	宏 喜	170	64	富 山 第 一	富 山
7	3	前 田	則	180	80	小 倉	西 崎
8	4	鮫 島	優	180	80	枕 竜	鹿 児 島
9	4	佐 賀	健	176	72	竜 崎 第 一	茨 城
10	3	寺 沢	津	170	65	長 小 舞	茨 城
11	4	中 村	信 考	174	69	倉	南 大
12	4	小 野	宗 正 龍	168	67		福 岡
補	2	小 松	也				
〃	2	柴 崎	裕 馬				
〃	2	向 井	一 博				
〃	4	○三 浦	文	170	67	木 本	三 重

三 重 大 学

顧問 関 口 秀 夫

	科	学	氏	名	身	体	出	出
艇指揮	食	年			長	重	身	身
艇長	水	3	大	村	165	56	瑞	地
1	水	2	平	野	164	56	刈	知
2	食	2	小	林	176	61	東	知
3	機	3	梅	田	168	65	住	阪
4	機	3	稻	葉	173	64	川	知
5	水	2	渡	辺	166	63	掛	岡
6	食	2	中	元	172	64	膳	賀
7	食	4	稻	井	176	71	寝	阪
8	食	3	●河	村	174	70	桑	重
9	食	3	○大	平	178	76	膳	重
10	海	4	岡	田	175	67	桑	賀
11	海	4	石	田	183	80	伊	重
12	機	3	北	野	167	65	千	庫
補	水	2	長	田	164	60	半	知
〃	水	2	井	川	170	58	緑	知
〃	水	2	玉	置	174	59	昭	知
		2	黒	宮	167	65	熱	知

ク ル ー 名 簿

東 京 商 船 大 学

顧問 中 島 保 司

(註) ●印主将 ○印マネージャー

	科	・学年	氏	名	身長	体重	出身校	出身地					
艇指揮	N	4	宮	城	雅	之	165	60	都	立	西	東	京
艇長	E	4	徳	永	慎	一	169	69	斐		太	岐	阜
1	E	4	赤	石	正	樹	162	61	三	原	東	広	島
2	E	4	布	施	信	文	170	69	新		津	新	潟
3	E	4	石	坂	昭	昭	175	70	長		岡	新	潟
4	N	2	西	部	好	昭	171	70	魚		津	新	山
5	N	4	田	中	誠	二	173	68	富		岡	群	馬
6	E	4	泉	谷	俊	夫	176	72	旭	川	西	北	海
7	E	4	高	木	公	生	179	80	桜		台	愛	知
8	N	4	北	田	勝	晴	173	74	盛	岡	一	岩	手
9	N	3	竹	井	義	隆	169	74	栃		木	栃	木
10	E	2	松	岡	隆	隆	165	63	横	須	賀	愛	知
11	E	4	原	田	文	史	167	62	岩		川	鹿	児
12	E	4	●和	田	明	明	165	64	甲		南	鹿	児
補	N	4	佐	藤	わ	た	165	61	秋		田	秋	田
〃	E	4	吉	田	聡	聡	172	68	墨	田	川	東	京

MEMO

・ 51年度 当番校 神戸商船大学 ・ 連盟会費を席く場合責任持って対応する。

主管校 東京商船

神戸商船

海上保安

防衛大学

・ 連盟費の値上げ 主管校 4万, 参加校 6万。(4万+2万)

連盟費 4万, 参加費 2万 (主管校でない大学について支払う)

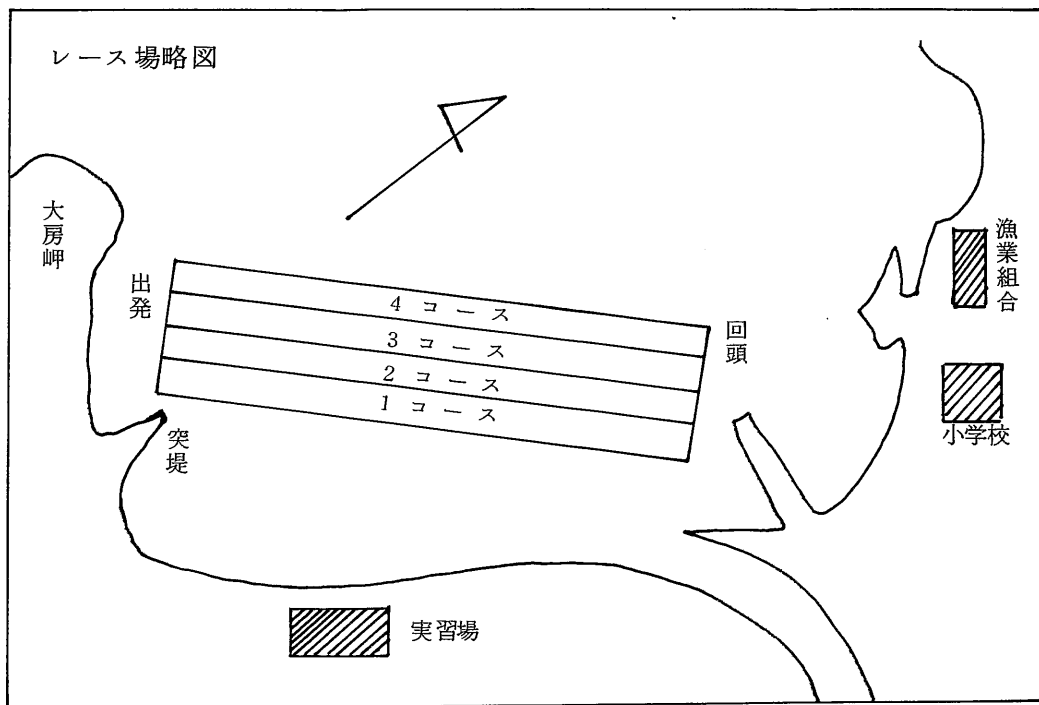
・ 50年度参加費 後日送付する。

過 去 の 成 績

回	年月日	場 所 (主 場)	参加校	優 勝	2 位	3 位
1	32.6.23.	東 京	8	東京水産大学	東京商船大学	神戸商船大学
2	33.5.25.	神 戸	10	東京水産大学	水産大学校	東京商船大学
3	34.6. 7	呉	11	水産大学校	海上保安大学校	東京水産大学
4	35.6.15	横須賀	10	神戸商船大学	水産大学校	海上保安大学校
5	36.5.28	神 戸	11	東京水産大学	水産大学校	三重県立大学
6	37.5.27	館 山	10	東京商船大学	防衛大学校	水産大学校
7	38.5.19	呉	11	東京水産大学	海上保安大学校	神戸商船大学
8	39.5.10	館 山	11	神戸商船大学	海上保安大学校	東京商船大学
9	40.5.16	神 戸	11	神戸商船大学	防衛大学校	水産大学校
10	41.5.15	横須賀	11	海上保安大学校	防衛大学校	三重県立大学
11	42.5.14	呉	11	防衛大学校	海上保安大学校	三重県立大学
12	43.5.19	館 山	11	防衛大学校	神戸商船大学	海上保安大学校
13	44.5.23	呉	9	防衛大学校	東京商船大学	海上保安大学校
14	45.5.17	館 山	12	防衛大学校	長 崎 大 学	海上保安大学校
15	46.5.16	神 戸 (神戸商船)	12	防衛大学校	神戸商船大学	鹿児島大学
16	47.5.21	横須賀 (防衛大学)	13	防衛大学校	海上保安大学校	神戸商船大学
17	48.5.20	呉 (海上保安)	12	海上保安大学校	東京水産大学	東京商船大学
18	49.5.19	館 山 (東京水産)	13	長 崎 大 学	海上保安大学校	水産大学校
19	50.5.18	館 山 (東京商船)	12			

審 判 規 則

1. 使用艇 オール及びコースはレースの都度抽選により決定する。
2. スタート
 - (1) 各艇は、指定の時刻、コース順に従い、スタートラインに整列する。
 - (2) 5分前をマイクにより通達、スタートブイに着く。ブイに着き用意が完了したら、艇長は陸上審判員に手を挙げて合図する。
 - (3) スタート用意： 号笛短声連続、手旗 2 原画、号笛長一声手旗頭上より一回転する。
 - (4) スタート： 頭上の手旗を垂直に振下すと同時に号笛を打つ。
3. 審判長、審判員がスタートを不完全と認めた場合には、直ちにレースを中止せしめ、スタートラインに呼び返す。諸信号、審判艇コース横断。
4. スタートにおける号令前の飛出し、及び艇の事故によるスタートの遅速等は 2 回で失格である。スタートにおける遅速トグルをラダーに引っかけた場合は艇の事故とは認められない。
5. 回頭は、左回頭（反時計回り）とする。回頭は指定の回頭旗を回頭するものとし、他の回頭旗を回頭した場合、及び回頭旗に艇又は、オールの一部でも接触した場合は失格である。
6. ゴール： 艇首が規定のゴールラインに入った順序をもって順位とし、審判員が判定する。
7. 同着の場合は追込艇の勝とする。
8. ゴールイン時のスタートブイタッチは失格としない。
9. 各艇は自己のコースを航行し、もし誤って他の艇に接触その他不正行為があったと審判員の蔭めた時は失格とする。
10. レース中のコースに於ける障害、自艇の故障等は他艇の不正な接触を除く他各艇自らこれを忍ぶべきものとする。
11. レースに関する異議申立等は、すみやかに艇指揮がこれを行い、審判長が裁決する。
12. オールは予備 2 本を積み自由に使用してよい。
13. 補欠は 2 名以内自由に交替できる。この項の含みとして、病人その他クルーの事故等については、審判長の判断を持つものとする。
14. オールは流したままゴールインしても差支えない。



コースの手引

本大会に使用される艇は長さ9m 12人漕のカッターである。救命艇として使用されるものであるが一般のそれは艀艀同型であるのに対し、艀を切落して外観は普通の舟艇と変わらない。外板鍍張の木製でオール12本(各々長さ約4.3m、握りの直径76cm、重さ10乃至15kg) マスト・セール等の艀装品を備え、帆走も可能である。漕手はCrewと呼ばれ、艇尾より艇首に向かって右側の者が1番、同じく左側の者が2番、以下交互に3、4～11、12番と続き、1、2番をBowmen、11、12番をStrokemenと称す。Strokemenは撓漕のピッチを加減する任務をもつ。艇尾で舵を握るのが艇長で指揮号令をかけるのが艇指揮である。艇指揮は艇のすべての指揮を行ない船長に相当する。

レース距離は折返し2,000mの直線コースで行なう。各艇の艇首が一直線に並んだとき、号砲の信号をもってスタートし、スタートラインより1,000mの所に設置された各コース毎の回頭旗を艇をこれに接触されずに左回り(反時計回り)に回頭して帰ってくる。即ちスタートラインがそのままゴールラインでゴールは艇首がゴールラインに達したときとする。予選は各グループ4とする。各グループの優勝チーム及び敗者復活レースで1位となった計4チームによって、最後に優勝戦が行なわれる。レースはいずれも時間的ずれによる海況の変化等の影響のためにタイムレースでなく着順位である。

ピッチ(1分間に漕ぐ回数)は大体30前後であるが、各チームとも研究を重ねているので必ずしも一定ではなく、それぞれ特色のある漕法によるピッチをもっている。

レース所要時間は10分余であるが、しかし救命艇という性質上、いかなる荒海でもレースは行なわれ、そのような場合には30分にも及ぶことがある。カッターレースは10分余の間、一瞬たりといえども息をぬくことを許さず、しかもクルー全員の呼吸が完全に一致しなければならない。レースの見所はピッチをいくらに定めるか、スタートダッシュ、回頭、ラストスパートの巧拙、風浪、海潮等の対策、利用の巧拙等たゆまぬ練習、シーマンシップを完全に身につけた者が初めて克服できる実技を兼ねた、最も豪快な海のスポーツである。

天候 晴

風向 北

風速 2

波浪 2

時刻	種 目	コース	校 名	艇	着 順	タ イ ム
08:30	開 会 式					
09:30	予選第1レース	1	東京水産大	52	1	11' 29" 0
		2	神戸商船大	44	2	17' 34" 8
		3	鹿児島大	31	3	12' 06" 2
		4	海技大	32	4	12' 37" 6
10:10	予選第2レース	1	日本大学	44	2	11' 58" 7
		2	神奈川歯科大	32	4	13' 36" 0
		3	三重大	52	3	12' 28" 1
		4	海保大	31	1	11' 50" 7
10:50	予選第3レース	1	長崎大	44	2	11' 42" 8
		2	下関水産大	32	3	12' 10" 8
		3	防衛大	52	1	11' 40" 9
						" "
11:15 ~ 12:30	午後 晴 曇 雨 風 北 風 速 2 波浪 2					
12:45 13:00	敗者復活レース	1	神戸商船	32	1	11' 32" 8
		2	鹿児島大学	31	3	11' 52" 9
		3	日本大学	52	4	12' 06" 2
13:25	順位決定レース	4	長崎大学	44	2	11' 43" 2
13:40	順位決定レース	1	海技大学	31	2	12' 10" 6
		2	下関水産	52	1	11' 59" 2
14:10	順位決定レース	3	三重大学	32	4	13' 51" 9
		4	神奈川歯科	44	3	13' 19" 4
						" "
14:25 15:00	決勝レース	1	神船大	52	1	11' 18" 6
		2	海保大	44	4	12' 03" 5
		3	防衛大	31	2	11' 28" 7
		4	東京水産大	32	3	11' 44" 0
15:45	閉 会 式					

順位

6

7

5

9

8

11

10

①

4

2

3